

「子ども会」と安全KYTのすすめかた 「潜在的な危険」を発見し安全に対する心構えを

楽しい子ども会活動の中にも『危険』が隠れています。

事故防止には、『危険』を知ること、特に『潜在的な危険』を発見し、安全に対する心構えをもっておくことが重要です。

1. 「KYT」とは

K（危険）Y（予知）T（トレーニング）の略です。

KYTは、自ら参加して、危険について考え、
「自らの危険回避能力」を高めることができます。

2. KYTは簡単にできます

具体的な絵（資料）を見て、みんなで話し合いながらゲーム感覚で危険を発見し、その対策を考えます。



3. KYTを定着させましょう

育成者やジュニアリーダー、年少リーダーの中にKYT係を設けるなどして、日々の活動の中で活用して下さい。

愛知県子ども会連絡協議会

専門指導者会編集

KYT（4ステップ）の進め方

1 グループ 6～10人で進めます。

1. 準備するもの（物品）

①イラストシート

A3版；グループ討議用、

各グループ1枚、

A4版；人数分

大型シート；全体用

②マジックインク

グループに黒・赤各1本

危険項目記入用（黒）

ウェイト付け項目記入

用（赤）

③模造紙（B紙各グル

ープ2枚ずつ）

1枚目（第1・2ステップ）

2枚目（第3・4ステップ）

④新聞紙（下敷き）＊机の汚れ防止

⑤セロテープかマグネット（発表の時に黒板にとめる）

⑥ホワイトボードなど

発表時に模造紙を止める

◎筆記用具（ボールペン等）＊必要に応じて

みんなで考えよう

危険予知トレーニングシート⑬



大型シート（全体用）

A3のシート（グループ用）

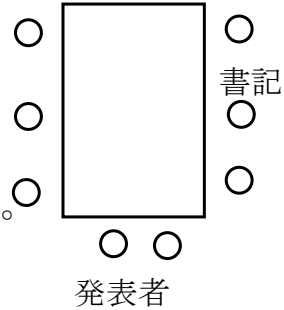
A4のシート（個人用）を用意
どこがあぶないかな？

（状況）

みんなで川あそびをしています

2. はじめにする作業

- (1) グループ分け (1グループ6～10人)
机を話し合いのしやすい配置にする
- (2) 自己紹介
- (3) リーダー, 発表者, 書記 (記録者)を決める
- (4) グループ名を決める



3. KYTの準備作業

- (1) 模造紙を縦長にして4回折る。
(16等分・書きやすくする為)
- (2) テーマを記入する
- (3) グループ名・Noを上から横書き

に記入する

4. KYTの準備作業

- (1) テーマを記入する
- (2) グループ名・Noを上から横書きに記入する

テーマ みんなで川遊び
グループ名 やまんばかい

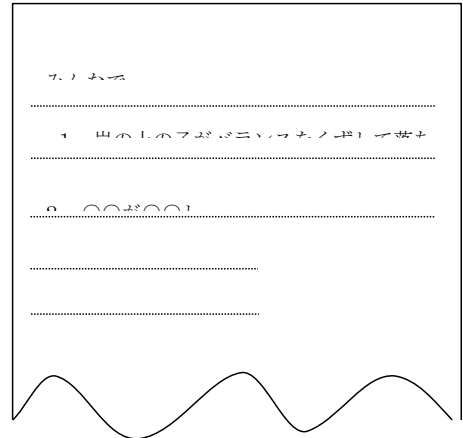
テーマ グループ名 No1と記入

テーマ	グループ名	No1と記入
-----	-----	-----
-----	-----	-----
-----	-----	-----
-----	-----	-----
-----	-----	-----
-----	-----	-----
-----	-----	-----
-----	-----	-----
-----	-----	-----
-----	-----	-----

- (3) メンバーは、危険なところを発見し発言する。
「〇〇が〇〇なので〇〇になる。」 「〇〇が～して〇〇になる。」と発言する
必ず現象、原因、結果を具体的に発言する。

話し合いの進め方
ブレインストーミング
の4原則

1. 他人の発言を批判しない。
2. 発言は質より量
3. 自由に発言
4. 他人のアイデアを加工して発言してよい



書記はみんなの発言を
簡条書きにする

第2ステップ (特に重要なものを選び出す)

—これが危険のポイントだ—

- (1) リーダーは書かれた項目を①から順に読み上げて確認する。
- (2) 特に「みんなの関心の高いもの、重大な事故の可能性のあるもの」に赤◎印をつける。

(1, 2項目にしぼり込む)。

- ウェイト順位：（１）命に危険を及ぼす
（２）重大事故につながる

特に重要なものを１，２個選び赤◎をつける

みんなであそび	やまんばんかいNo1
1. 岩の上の子がバランスをくずして落ちてヤズにさざってけがをする	
◎2. ○○が○○して○○になる	
.....	
.....	
◎4 一人で深いところに行っている子が深みに入っておぼれる	

（３）全員起立して◎印項目を指差しリーダーのリードで指差唱和する。

「危険のポイント××，××，ヨシ！」と唱和する。

第３ステップ

—私ならこうする—（対策を考える）

（１）◎印を付けた重要な危険要因に対して実行できる対策を出す。（ここからは２枚目）

１つの◎印に２～３の対策を考える。

2枚目の模造紙を用意する。

重要因子を書き写してそれぞれに対策を立てる

みんなで川遊び	やまんばかいNo2
◎2. ○○が○○して○○になる	ステップ②で選んだ
① 整理整頓を徹底する	重要項目を書き出す
② ○○をする	
~~~~~	
~~~~~	
~~~~~	
~~~~~	
~~~~~	
◎4 一人で深いところに行っている子が深みに入っておぼれる	
① バディシステムを取り入れる	それぞれに対策 をたてる
② ○○をする	

「どうしたら予防, 防止できるか」 「私ならこうしよう」

「こうすることが必要だ」

#### 第4ステップ (みんなで実行する行動目標を決める)

— 私たちはこうする —

(1) 「必ずしなければならないこと」を重点項目として決め○印をつける。

(2) ○印は1～2個程度とし、その項目をスローガン化し行動目標とする。

「～を～して～しよう」といった具合。

(3) グループ目標を全員起立して指差し唱和する。

「〇〇を〇〇して〇〇しよう！！ヨッシ」

## 5. 発表

グループでまとめた事を発表する

大型シートで説明すると分かりやすい。

### グループの行動目標をスローガン化

みんなで川遊び やまんばんかいNo2

◎2. 〇〇が〇〇して〇〇になる

① 整理整頓を徹底する

◎ 〇〇をする

重点項目を1つ～2つ決めて〇印をつける

---

◎4 一人で深いところに行っている子が深みに入っておぼれる

◎ ①パディシステムを取り入れる

◎ 〇〇をする

グループの行動目標をスローガン化する

〇〇を〇〇して〇〇しよう！！

■ 全員で指差唱和

- (1) 危険箇所・危険な行動と、特に危険とした項目を言う
  - (2) 対策案を言う
  - (3) スローガンを言う
  - (4) スローガンを決めた理由を言う
  - (5) スローガンの指差唱和を全員で言う
- 発表終了（整列）